

持続可能な食料生産・消費のための官民円卓会議  
第3回 温室効果ガスの見える化作業部会（概要）

日時：令和5年3月24日（金）10:00～12:00

場所：農林水産省、Web 会議（ハイブリット開催）

出席者：別紙参照

概要：温室効果ガスの見える化に向けて、令和4年度施策の成果と令和5年度施策の方針について意見交換を実施。また、イオン株式会社と明治HDから、加工食品についてのコミュニケーションの在り方を集中的に議論するためのタスクフォースを作業部会内に設置する提案がなされた。主な意見は以下のとおり。

一次産品を対象とした簡易算定シートについて

- 一次産品についての簡易算定シートの品目拡大について評価。畜産分野へも拡大することを期待。
- 組織単位の GHG 算定に削減効果を反映させるための簡易算定シートの活用方法について明確化してほしい。
- 消費者の行動変容を促すには、個別の食材だけでなく献立として GHG 排出量を「見える化」することも有効ではないか。
- 生乳のような一元集荷するような品目について製品ベースで「見える化」することは課題。
- 商品を「見える化」したことに対する消費者の価格受容性は重要な要素である。
- 簡易算定シートの活用を国産品の需要増につなげていくような工夫をしていくべき。

加工食品を中心とした「見える化」について

- 加工食品についてどのように「見える化」していくかは検討課題である。

○ サプライヤーエンゲージメントを強化していくことが重要であり、食料システム全体で取組を進めていく必要がある。省庁間の連携も期待する。

○ Scope3 の大部分を占める輸入原材料の排出量を適切に評価していくことが重要であり、令和5年度の施策において輸入原材料の排出原単位の調査に期待。輸入原材料の排出原単位の調査については、商社を巻き込むことが重要。

○ 削減効果を反映させていくためには、排出原単位を二次データから一次データに置換していく必要がある。一次データの活用に関するルール化や二次データから一次データに切り替えた際のコミュニケーションに課題感がある。

#### その他

○ イオン株式会社と明治 HD 株式会社から、加工食品についてのコミュニケーションの在り方を集中的に議論するためのタスクフォースを作業部会内に設置する提案がなされた。議論の結果、タスクフォース設置を前提として議論を進めることとし、書面にてタスクフォースへの参画を希望するメンバーの募集を行うこととなった。

(以上)

(別紙)

「持続可能な食料生産・消費のための官民円卓会議」  
第3回温室効果ガスの見える化作業部会 出席者表

○味の素株式会社（オンライン）

高取 幸子      サステナビリティ推進部長

○イオン株式会社（対面）

栢島 裕美枝    環境・社会貢献部   マネージャー

○伊藤忠商事株式会社（欠席）

藤野 浩章      食料経営企画部部長代行

右近 修一      食糧部門   食糧戦略室長

山寄 祐輔      食品流通部門   食品流通戦略室長代行

中島 辰実      食品流通部門食品流通戦略室

○オイシックス・ラ・大地株式会社（オンライン）

東海林 園子    経営企画本部   新規事業開発準備室   グリーンプロジェクトリーダー

○カゴメ株式会社（オンライン）

和田 好弘  
(代理)      品質保証部   環境システムグループ課長

○カルビー株式会社（オンライン）

高木 星治      サステナビリティ推進部   部長

○国分グループ本社株式会社（オンライン）

古賀 秀之      経営企画部   サステナビリティ推進課   課長

○全国農業協同組合中央会（オンライン）

加藤 純      農政部   次長

○日清食品ホールディングス株式会社（オンライン）

斉藤 圭      経営企画部   次長

河島 武志      環境推進部   課長

○日本コカ・コーラ株式会社（オンライン）

岡部 容子      広報・渉外&サステナビリティ推進本部   渉外部長

○日本生活協同組合連合会（オンライン）

新良貴 泰夫      組織推進本部 社会・地域活動推進部    サステナビリティ推進グループ    グループマネージャー

○日本農業法人協会（オンライン）

井村辰二郎      日本農業法人協会理事／アジア農業（株）代表取締役  
（代理）

○日本ハム株式会社（オンライン）

鳴海 洋一      サステナビリティ部    プロモーター

○日本マクドナルド株式会社（オンライン）

田中 優衣      コミュニケーション&CR本部    GR部    マネージャー

○農林中央金庫（オンライン）

尾崎 太郎      営業企画部長

○ハウス食品グループ本社株式会社（オンライン）

南 俊哉      コーポレートコミュニケーション本部    CSR部    部長

出口 昌義      コーポレートコミュニケーション本部    CSR部    環境企画課長

○マルハニチロ株式会社（オンライン）

目時 弘幸      経営企画部サステナビリティ推進グループ    部長役

○明治ホールディングス株式会社（対面）

天沼 弘光      サステナビリティ推進部    サプライチェーンG長  
（代理）

清水 康男      サステナビリティ推進部    環境G長

○Climate Youth Japan（オンライン）

望月 碧      役職なし  
（代理）

○農林水産省

小川 良介      農林水産審議官

岩間 浩      大臣官房審議官（技術・環境）

久保 牧衣子    大臣官房みどりの食料システム戦略グループ

国枝 玄      大臣官房みどりの食料システム戦略グループ地球環境対策室長

小田 雅幸      大臣官房みどりの食料システム戦略グループ  
地球環境対策室    課長補佐

片山 健太郎 新事業・食品産業部 企画グループ  
新事業・食品産業専門官（環境担当）

オブザーバー

○環境省地球環境局地球温暖化対策課

平尾 禎秀 脱炭素ビジネス推進室 室長

※敬称略